

4段階評価： 4 期待以上 3 ほぼ期待どおり 2 やや期待を下回る 1 改善を要する

学校経営 ビジョン	「幸ヶ丘小ならではの教育実践を通して、確かな学力と生きる力を身に付けた子どもを育成する。」 ① 少人数の利点を生かした教育実践を通して、学力向上を図る。 ② 子どもの将来に必要な資質を見据えた教育実践を通して、生きる力の形成を図る。
--------------	--

項目	本年度の重点目標と 目標達成のための手段	結果の考察・分析および改善策等	自己 評価	関係者 評価	学校関係者評価のコメント ※原文のまま、すべてを掲載
知 育	重点目標：学力向上の推進 手段： 1 複式解消によるきめ細かな指導の充実と「わかる・できる授業」づくり 2 小中一貫教育（3校合同研究）の推進と1人1研究授業を通じた授業改善 3 読書活動の充実 4 家庭学習の充実	1 について ● 国語の読解力がもう少しのようで、対策（具体的な）を考えていく必要がある。 ● 個に応じた指導は、より充実してきている。ICTやWeb単元の活用がもう少しだった。 ----- 2 について ○ 本年度の研究は道徳だが、研究で学んだことを他教科にも生かしていきたい。 ----- 3 について ○ 10月に実施。児童は意欲的に取り組んでいる。ただ、イベント化して、その時だけ多いのも…良いものかと思っている。図書館に継続して足が向かうような仕掛けを考えたい。 ○ 図書館協力員の積極的な取組もあり、読書の冊数が目に見える方法等、図書室内がとても明るく、本に興味がわく方法がとられている。 ○ 読書活動は充実してきている。保護者の協力もよい。 ○ 年間貸し出し冊数1人117冊（1月末日） ----- 4 について ○ 家庭学習については、よい実践例を紹介するなどして、さらに充実させていきたい。	3	3	○ 複式解消による指導は、すばらしかった。 ○ 参観日を見たときに、先生と生徒の授業の取組はとても良いと感じられました。 ○ 授業づくりは、先生方が工夫している様子が見られ、子どもたちにも伝わっていると思います。 ● ノーメディアに関しては、まだ不十分で今後のさらなる取組が必要である。時間の設定など、踏み込んでいかなければならない。

徳 育	重点目標：豊かな心の教育の推進	1について ● 立腰からの姿勢維持が難しい。体幹が弱いのだろうか。	3	3	○ 幸ヶ丘太鼓は、学校による取組だが、地域にとっても誇れる取組である。 ○ 各種作品展やコンクールなど、本当に多数の生徒の活躍が見られ、とてもうれしく思う。先生方の努力もひと役買っていると思う。 ○ 幸ヶ丘太鼓は、市の音楽大会などで「本当に良い」という、うれしい言葉を聞きすので、続けていければと思います。子どもたちにとっても人前で演奏することで、自信につながると思います。もっと発表する場が増えるといいと思います。 ○ 作品応募など子どもたちの頑張りが評価され、素晴らしいと思います。 ● キャリア教育（こすもす科）は、よくわからないので、わかりやすくどんなことをしているのか知りたいです。
	手段：	2について			
	1 西小林中校区の小中一貫教育のきまり定着及び集団規律の徹底	○ 道徳科を主題研究として取り組んだことにより、指導法の改善が進んでいると思う。			
	2 道徳教育の充実（本年度主題研究）	3について ○ 実施状況は良好である。			
	3 キャリア教育の充実	4について ○ ボランティアが活発になる工夫をしていきたい。 ○ ボランティアは、ここ数年で一番取組が充実していると思う。			
	4 朝のボランティア活動の活性化	5について ○ 太鼓は、運動会で多くの方々に聴いていただき、励みになったと思う。 ○ 幸ヶ丘太鼓は、他の学校では少ない取組だと思ふ。低学年から地道な練習の積み重ねで、成長が見えるので、子どもたちの自信につながると思う。			
5 「幸ヶ丘太鼓」の取組及び作品応募を通じた自信とやる気と達成感の涵養	6について ○ 子ども同士のトラブルや変化等、職員間の情報交換がなされている。				
6 教育相談の充実					

体 育	重点目標：健やかな身体の育成	1について ○ 体力向上のピンポイント対策も考えていく必要がある。（できれば遊びや体育、朝の体操に合わせて）⇒体幹を刺激したい。	3	2	○ むし歯治療率100%は難しいでしょうが、子どもたちのためにできるだけ小さなうちから治していきたい。 ○ 無欠席150日以上達成は、素晴らしいことだと思います。 ○ 無欠席日150日以上は、とても素晴らしいです。 ● もう少し体力アップすると良いかなと思います。 ● 家庭と学校の生活が充実して形成される項目なので、もう少し家庭での努力もほしい。
	手段：	2について			
	1 一人一人に応じた体力向上の推進	○ 児童は昼休み等積極的に外遊びをしている様子が見える。 ○ 外遊びと肥満率の解消がもう少しだったように思う。人数が少ないながらも遊んでいる方だと思ふが、遊ばない子もいる。体育館では、よく遊んでいる。			
	2 外遊びの推奨	3について ○ 養護教諭がいろいろと細やかな話をしてくださったり、掲示物を作ってくださったりして、児童はもちろん教職員の研修にもつながっている。			
3 「早寝・早起き・朝ごはん」ノーメディアデーの奨励と基本的な生活習慣の定着					
4 肥満率の解消					

	<p>5 全員登校年間 150 日以上</p> <p>6 むし歯治療率の向上</p>	<p>4について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 肥満率については、保護者の協力が難しいことが課題である。 ○ 肥満率の解消については、夏休み前に全児童に資料やがんばり表を配付したが、対象児童だけの配付の方がよかったかもしれない。 <p>-----</p> <p>5について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 無欠席日の年間日数は1月末日で152日である。これから風邪やインフルエンザが流行る時季に入るので、予防について常時指導していきたい。 <p>-----</p> <p>6について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ むし歯の治療率は、1月末日で60%である。家庭への啓発を続けていきたい。 			
食育	<p>重点目標：望ましい食習慣の育成</p> <p>手段：</p> <p>1 給食指導の充実</p> <p>2 体験活動と関連させた指導の充実</p> <p>3 弁当の日の実施</p> <p>4 家庭との連携</p>	<p>1について</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 参観日の懇談会の時間を計画的に活用し、家庭との連携を密にして効果を上げていきたい。 <p>-----</p> <p>2について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 実施状況は良好である。 <p>-----</p> <p>3について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 保護者の理解と協力ありがたい。 ○ 弁当の日については、夏休みに「食の贈り物」として料理作りに取り組んでいた。 <p>-----</p> <p>4について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 家庭との連携については、学校でのけがや体調不良等、学級担任と連携しながら保護者への連絡を行ってきたい。 	3	3	<ul style="list-style-type: none"> ○ ランチルームという、生徒全員で食事を摂る体制は、幸ヶ丘にしかできないことなので良いと思います。 ○ 苦手な給食も頑張って食べてくれるようになり、声かけをしてくれているのかなと思います。
その他	<p>重点目標：保護者や地域から信頼される学校づくり</p> <p>手段：</p> <p>1 小小・小中連携及び幼保小連携の推進</p> <p>2 学校運営協議会の推進</p> <p>3 防災教育の推進</p> <p>4 信頼される教職員の育成</p>	<p>1～4について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ いずれも実施状況は良好である。 	4	4	<ul style="list-style-type: none"> ・ 特になし。

次年度の方向性についての校長所見	<p>小規模校ならではの教育活動について、全職員が一丸となって取り組んできたことを的確に評価していただいた。</p> <p>これは、本年度の学校経営ビジョンが学校の教育的課題を踏まえたものであり、且つ地域の実態にも合致しているので本校職員の学校経営ビジョン達成に向けた様々な取組の成果であると言える。</p> <p>特に、極小規模校ならではの複式解消による「きめ細かな指導」の充実によって児童に学力が定着していることを学校運営協議会委員にも高く評価していただいた。次年度も引き続き、児童の学力向上と健全育成に努めていきたいと考える。</p> <p>また、知育・体育・食育に係る内容では、少人数の特性を活かすとともに、保護者や地域住民、関係機関等との連携・強化を図りながら推進していきたい。</p>
------------------	--